

横浜キネマ倶楽部 第77回上映会 1982年/日本/カラー/103分/DVD 上映

老マタギと少年は、雄大な自然の中  
冬山奥深く宿敵の巨熊を追った!

# マタギ

## 2月10日(土)

### ①11:30 ②14:10

【各上映回30分前より開場】

### 【交流会】13:15~13:45

【1回目の上映後に開催】

厳しい山の戒律に生き  
自然の対話を守る誇り高きマタギ  
最後の戦いに挑む!

「チケットぴあ」から  
入場券が購入できます

購入は2月9日(金)迄となります

**(Pコード:553-355)**

「セブンイレブン」でチケット購入可能

©青銅プロダクション

西村晃 安保吉人 林優枝 山田吾一 稲葉義男 矢口高雄 伴淳三郎  
原作・監督:後藤俊夫 脚本:大和屋竺/後藤俊夫 音楽:羽田健太郎  
撮影:山崎堯也 美術:大谷和正 助監督:池田博穂 制作:小島義史

**横浜市南公会堂**(南区総合庁舎内3階)

☎045-341-1261(席数400席)

後援:横浜市教育委員会

【入場料】前売:1,000円 当日:1,300円 障がい者:1,000円 介助者1名無料

【主催・問合せ】☎080-2554-8023(10時~18時)横浜キネマ倶楽部

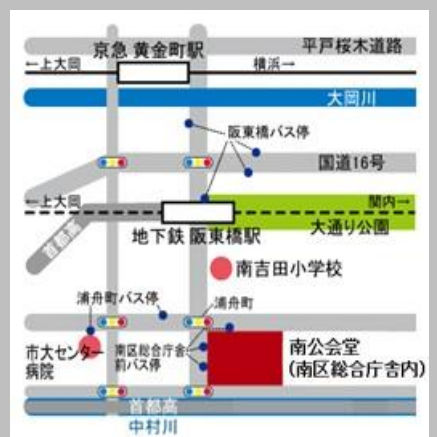
【プレイガイド】有隣堂伊勢佐木町本店☎045-261-1231/高橋書店(元町)☎045-664-7371

いづみ書房☎045-241-1104/シネマ・ジャック&ベティ(黄金町)☎045-243-9800

横浜シネマリン(長者町)☎045-341-3180/岩間市民プラザ(天王町)☎045-337-0011

【チケットぴあ】(Pコード:553-355)「セブンイレブン」でチケットの発券ができます。

【最寄駅】  
市営地下鉄「阪東橋」駅  
徒歩約8分  
京浜急行「黄金町」駅  
徒歩約14分



映画「マタギ」は、  
自然のすばらしさと厳しさを、  
そして、その中で生きてゆく  
人間の姿を少年の目を通して、  
こんなにも感動的に  
描いて見せた！



# マタギ

《解説》緑に包まれた山々、そして小川のせせらぎ、厳しい真冬の自然のすばらしさと恐ろしさと共に、美しい秋田の四季が大画面に広がってゆく。大自然の中でくりひろげられる、少年と小犬との愛情、宿敵である幻の巨熊を追い続ける老マタギの執念—少年は、老マタギと共に、厳寒の冬山に最後の冒険に出た。美しい自然を織り込んだ2年間の現地ロケ、本物の巨熊を使っての決死の撮影、1億8千万円の製作費をつぎこんで、ダイナミックでドラマチックな感動作が、ここに誕生した。主演は、渋い、個性的な演技力で知られる性格俳優の西村晃と秋田市城東中の安保吉人君。父親に山田吾一、姉に林優枝、猟の仲間に稲葉義男、伊沢一郎他、学校の先生に桑山正一、女獣医に「鳩子の海」の藤田美保子。ほかにニューミュージックの旗手友川かずき、「釣りキチ三平」劇画家矢口高雄らがゲスト出演。又この作品が最後となった伴淳三郎が特別出演している。音楽は、新進羽田健太郎が、自然を美しく感動的に謳いあげている。



## 《キャスト》

関口平蔵=西村晃  
太郎=安保吉人  
姉・より子=林優枝  
父・岩吉=山田吾一  
村の駐在=伴淳三郎  
吉村角次=伊沢一郎  
鈴木幸吉=稲葉義男  
五十嵐先生=桑山正一  
木田茂治=伊藤敏孝  
毛皮屋主人=佐竹明夫  
審査員=矢口高雄

## 《スタッフ》

監督・原作=後藤俊夫  
脚本=大和屋竺/後藤俊夫  
制作=小島義史  
撮影=山崎堯也  
美術=大谷和正  
音楽=羽田健太郎  
録音=小野寺修  
照明=豊島良三  
照明=平田光治  
照明=山本嘉治  
助監督=池田博徳

《物語》秋田県のマタギの里、根子村に住む平蔵爺いは、古いしきたりを守り続けるただ一人のマタギだ。爺いの頬にはザックリ割れた傷跡が刻まれている。その傷は、数年前に、立ち上がると三メートルもある巨熊に襲われた時のものだ。だが村人たちは、誰れ一人としてその話を信じなかった。そんなドデカイ熊を見たという話は、いままで一度もないからだ。—アイツは、わしがやる—。村人たちの笑いをあとに、今年も爺いは、厳しい冬山に一人で入り始めた。平蔵の孫の太郎は、旧式の銃に、たった三発の弾丸しかもたずに山立ちする、そんな爺いの強さに怖しさと頼もしさを感じていた。ある雪の日、マタギ犬シロに仔犬が生まれた。太郎は一番ひ弱な落ちこぼれ犬の子ビを育てることにした。連日の厳しい特訓と、太郎の愛情で、子ビは逞しいマタギ犬に成長した。その頃、町に熊の被害が出始めた。傷を調べる爺いの目が光った、アイツだ！巨熊を追って爺いと太郎と子ビは、雪深い山中に入った。荒れ狂う吹雪を乗り越えて、二人はついに宿敵の巨熊をみつけたのだった……。

＜これまでの上映作品＞全83作品（特別上映会6回、上映会中止2回を含む）

©青銅プロダクション

美しい夏キリシマ/パッチギ!/カーテンコール/二人日和/ゆるる/トリノ、24時からの恋人たち/長い散歩/天空の草原のナンサ/イノセント・ボイス—12歳の戦場—/モーターサイクル・ダイアリーズ/恋するトマト/シッコ/歓喜の歌/赤い風船/白い馬/三本木農業高校、馬術部/ラストゲーム～最後の早慶戦/マリア・カラスの真実/ディア・ドクター/扉をたたく人/縞模様のパジャマの少年/春との旅、小さな村の小さなダンサー/冬の小鳥/ホームカミング/ミツバチの羽音と地球の回転/デザートフラワー/ハーモニー心をつなぐ歌/ドバーバばあ織姫たちの挑戦/エンディングノート/旅芸人の記録/トガニ/月世界旅行・メリエスの素晴らしき映画魔術/かぞくのくに/警察日記/名もなく貧しく美しく/よみがえりのレシピ/きっと、うまくいく/日本の悲劇/ペコロスの母に会いに行く/息子/ハンナ・アレント/標的の村/救いたい/野のななののか/ぼくたちの家族/NO(ノー)/春よこい/野火/手のひらを太陽に/袴田巖夢の間の世の中/父を探して/お盆の弟/祖谷物語—おくのひと—/東京ウィンドオーケストラ/ふるさと/どっこい!人間節寿・自由労働者の街/孤獨の人/喜劇大風呂敷/神宮希林わたしの神様/寿ドヤ街生きる/寿ドヤ街生きる2/日曜日の子供たち/1999年の夏休み/風のある道/アダムズ・アップル/十階のモスキート/約束名張毒ぶどう酒事件死刑囚の生涯/夢は夜ひらく/我が人生最悪の時/喜劇・いじわる大障害/喜劇女もつらいわ/木靴の樹/赤いハンカチ/裸の島/スモーク/みんなの学校/泥の河/帰らざる波止場/帰郷/風船

横浜キネマ倶楽部 第78回上映会 作品・会場・日時 未定

## 【横浜キネマ倶楽部】

住 所: 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民活動サポートセンターNo.269 横浜キネマ倶楽部

＜問合せ＞ TEL 080-2554-8023(10～18時) Eメール:yokohama\_kinemaclub@yahoo.co.jp HP アドレス <https://ykc.jimdofree.com/>